

2010年1月12日  
明治大学

**被災者の誘導、被災情報の伝達、所在地把握、交通機関の運行状況確認…**

**防災訓練に「iPhone」を活用する初の実験を行います**

**～1月15日(金)の千代田区帰宅困難者避難訓練で130台を配布～**

明治大学（安藏伸治・ローカルエリアコミュニティシステム研究所長）は、文部科学省学術研究高度化推進事業の一環で、ソフトバンクモバイル株式会社・ソフトバンクテレコム株式会社の協力を得て、米 Apple 社製の高性能携帯電話「iPhone™（アイフォーン）」を災害訓練に活用する初めての実験を行います。実験の舞台は、2010年1月15日（金）の千代田区帰宅困難者避難訓練です。参加する学生やボランティアには130台の iPhone を貸与し、多様なアプリケーションを駆使して情報収集をしてもらう事で、被災者の誘導などに役立ててもらいます。

災害時に役立つ通信サービスとしては、被災者の安否確認を行う「災害時伝言ダイヤル（171番）」や携帯電話各社の「災害用伝言板サービス」などがすでにありますが、多彩な機能を有する iPhone を災害時に利用すれば、被災者や災害ボランティアがより多くの安否確認や災害情報の収集ができるのではないかと、というのが今回の実験の狙いです。

訓練に使用するアプリケーションは、ある場所を iPhone の内蔵カメラで映すとその場所に関する付加情報（文字・画像・音声）も合わせて表示される「セカイカメラ」や、iPhone ユーザーの現在地を24人まで登録できる「Friend mapper」、短文のブログ形式で多人数と同時にやり取りができる「Echo fon for Twitter」などです。

マグニチュード7・3の首都直下型地震が発生したとの想定で行われる今回の訓練では、秋葉原駅西側広場のスタート地点から新宿中央公園のゴール地点までの全長約10キロの道のりを、途中で給水訓練や給食訓練を行いながら移動します。なお、秋葉原のメイドカフェで働くメイドさんたちも、メイド姿で訓練に参加する予定となっています。



写真は、秋葉原案内所の増田しおりさん

- Apple、Apple のロゴは、米国および他国の Apple Inc. の登録商標です。
- iPhone は Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 3G は単独の通信業者のサービスでのみお使いいただけるよう設定されている場合があります。